

2012 第2回 鹿児島市

景観まちづくり賞

2012 THE BEST OF KAGOSHIMA LANDSCAPE AND ARCHITECTURE AWARD





ごあいさつ

鹿児島市長

森 博幸

鹿児島市は、市街地の眼前にそびえる活火山・桜島や波静かな錦江湾という世界的にも稀有な自然景観や、島津氏の城下町として発展してきた個性あふれる歴史と文化を有し、多様な都市機能が集積する南九州の中核都市として発展してきました。

これらの豊かな自然や鹿児島の風土・文化に育まれてきた美しい景観は、都市イメージの向上や交流人口の増加に資するものであり、地域社会共有の財産として、次の世代にもしっかりと引継いでいけるよう、市民、事業者、行政が一体となって、守り、創り、育てていく必要があります。

この鹿児島市景観まちづくり賞は、良好な景観形成に取り組む市民や事業者、地域団体等の取組を表彰するとともに、これらを広く紹介することで、都市景観に対する市民の関心と理解を深め、魅力あるまちづくりを進めるために実施するものです。

第2回となる今回は、建築部門25件、景観部門4件のご応募をいただいた中から、審査会において、建築部門3件、景観部門2件、特別賞1件を選出いたしました。

受賞された皆様方には、心からお祝い申し上げます。皆様方の取組の成果が、地域の魅力として多くの方々から愛され、また、これからの景観まちづくりの道標となることを期待いたします。

さて、本市では、今後10年間のまちづくりの基本的指針となる「第五次鹿児島市総合計画」が本年4月からスタートしました。「人・まち・みどり みんなで創る“豊かさ”実感都市・かごしま」を目指すべき都市像に掲げ、真に豊かさを実感できるまちの創造に向けて全力で取り組んでおります。

グローバルな交流の進展や九州新幹線全線開業などにより都市間競争が激化する中において、にぎわいと活力に満ちた都市の豊かさを実現するためには、本市特有の地域資源を最大限に生かし、その魅力をさらに高めていくことが重要です。

今後とも、新たな時代を見据えた施策にも積極果敢に挑戦してまいりますので、皆様方の一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

終わりに、審査会の委員の皆様をはじめ、本賞の運営にご支援、ご協力を賜りましたの方々、そして今回ご応募いただきました皆様方に心から感謝を申し上げ、ごあいさついたします。



審査にあたって

第2回鹿児島市景観まちづくり賞審査会 委員長

門内 輝行

京都大学大学院工学研究科建築学専攻 教授

平成22年に創設された「鹿児島市景観まちづくり賞」は、本年で第2回となります。この賞の前身は平成2年から10回、約20年にわたって実施された「鹿児島市建築文化賞」ですから、実質的には景観まちづくり賞は22年の歴史を積み重ねたこととなります。今回も前回に引き続き、審査委員長を務めさせていただくことになり、大変光栄なことと存じております。

この間、平成23年3月に東日本大震災、巨大津波や原子力発電所の深刻な事故を経験し、我が国は大きな困難に直面していると言わざるを得ません。こうした危機的状況の中で、私たちの価値観やものの考え方は大きな転換を迫られていると思います。おそらくこのことが次回以降の景観まちづくり賞の応募作品の質にも大きな変化をもたらすことになるでしょう。

さて、第2回景観まちづくり賞の審査は、8月24～26日の3日間にわたって実施しました。幸い天候にも恵まれ、現地審査を含めて順調に審査が進み、表彰対象となる作品・活動を無事選定することができました。

応募件数は前回に比べて減少しましたが、集まった作品・活動の質はまずまずの水準に達していたのではないかと感じています。応募用紙に記載された内容を見ますと、前回に比べて「景観」の概念に対する理解は進んだようですが、それでも景観の表層的な理解にとどまっている事例も多く、景観の深い理解に基づく作品がどのくらい含まれているかを期待しながら審査に臨みました。

今回は建築部門9件、景観部門3件を現地審査の対象としました。建築部門については、実際に現地に立ってみると、建築と周辺環境との関係性をよく読み解いていない作品が多く、せっかく頑張って設計しても、単体としては優れていても、魅力的な景観を形成し得ない結果となります。その点では、これまでに何度か応募され、実績を上げてこられた設計者の作品、大手の設計事務所の作品の中に、景観に対する深い理解に基づく作品が多く、最終的にその中から受賞作品が選ばれる結果となりました。景観部門についても、景観に対する理解が不足しているため、応募用紙に適切な説明が記載されていない事例が多かったと思いますが、景観活動の中には優れた事例も認められました。

私自身は21世紀を迎えて、設計(あるいはデザイン)の概念が大きく転換していると考えています。今日の設計の課題は、単体としての建築の設計にとどまらず、建築を要素として含む複雑なシステムを設計すること、言い換えれば建築と都市・環境・景観などとの関係性を設計することにあると思います。例えば、自然と分断された建築が地球環境の破壊をもたらし、都市との関係に配慮しない建築が景観を乱すのは、関係性の設計が欠如しているためです。

「鹿児島市景観まちづくり賞」はそのような21世紀の設計概念を地域から先導する役割を担っているのだと思います。賞の選考を通して、市民の皆様と共に鹿児島らしい優れた建築・景観文化を育てていくことに貢献したいと考えています。

建築部門

小規模特別養護老人ホーム寿康園
・寿康園グループホーム飯山



南側より見る



光庭

- 所在地 本名町2196番地1
- 建築主 社会福祉法人 寿康会
- 設計者 株式会社 みのだ設計
- 施工者 第一建設株式会社
- 概要 用途: 児童福祉施設等
構造等: 木造2階
延面積: 2,274.68㎡



道路勾配に沿って段状に分節された外観

山間の緑豊かな農村部に建設された特別養護老人ホームとグループホームからなる高齢者福祉施設である。敷地周辺に広がる昔ながらの家々が立ち並ぶ集落景観との調和を図るために、木造2階建て瓦葺屋根を選択するとともに、大きなボリュームが突出しないように分節した空間を分散配置することにより、様々な高さの屋根と在来木造の外観が重なり合う集落的な建築を形成している。

特別養護老人ホームとグループホームには、9~10の居室と1つの食堂・リビングからなるユニットがそれぞれ3つ、2つ含まれ、それに地域交流室、託児室、スタッフルームなどが加わり、それらの大小様々な空間(あるいは建物)が分散配置され、施設全体がさながら一つの村のような構成となっている。そしてそれらの隙間には光庭やハイサイドライトが設けられ、通風・採光を確保し、内外の景観を借景として取り入れるなど、入居者の居住性を高めている。

木の空間は入居者に温もりや柔らかさをもたらすが、同時に可能な限り県産材を使用することで林業振興に寄与することも企図されている。また、スタッフの子どもを預かる託児室は高齢者施設に生命を吹き込み、地域交流室は周辺住民との繋がりを育むに違いない。

景観まちづくりの観点から特筆すべきは、建物自体で集落あるいは町並みの景観を創り出したことである。歩くに連れて変化する眺めは、日々の暮らしにドラマを生み、心に潤いを与えるはずである。



光と木々を取り込む食堂・リビング



地域の人们にも開放される地域交流室



隣家越しに見る屋根の連なり

受賞者の声

「小規模特別養護老人ホーム寿康園
・寿康園グループホーム飯山」

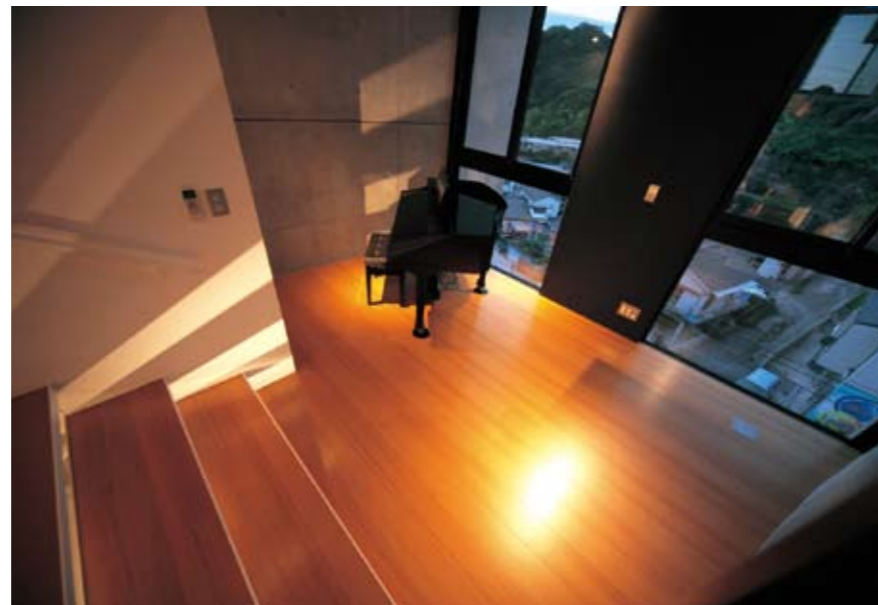
住宅が散在する山間に建つ木造瓦葺の集落的な建物です。

入居者が原風景にふれ、平穏な日々を過ごせる居住空間を目指しました。

ゆっくりと流れる時間の中、ホールでの演奏会など、寿康園の意欲的な取組みが、入居者のアメニティーを一層高めています。

株式会社 みのだ設計

建築部門 城山アパートメント



- 所在地 城山一丁目57番12号
- 建築主 有限会社 田代商店
- 設計者 サウルス建築設計事務所
- 施工者 株式会社 深野木組
- 概要 用途:事務所付長屋
構造等:RC造3階
延面積:485.11㎡

若い音楽家が住宅地の中で音楽とともに暮らすことができる住まいを提供したいというオーナーの思いを受けて建てられた1LDKの住戸6戸と事務所からなるアパートメントである。

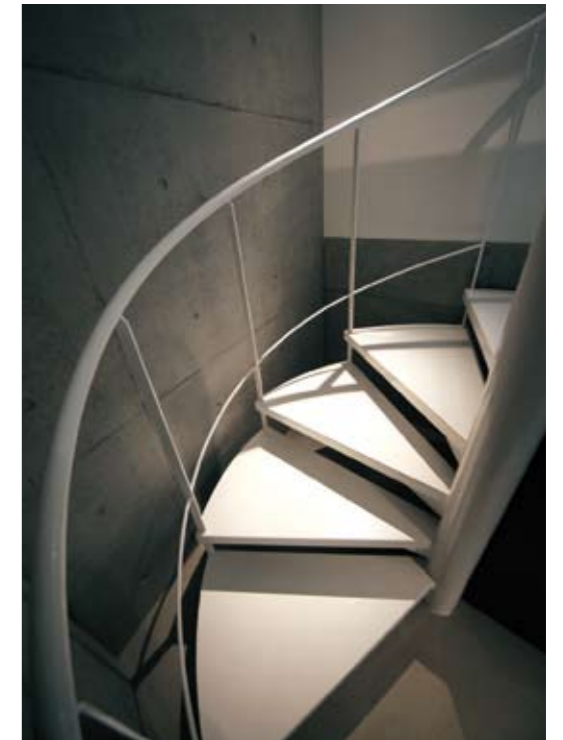
設計者は単に防音性能を高めるだけでなく、良い音が響き、音楽や映像を介して人々が気持ちよく繋がることができる住空間を実現している。すなわち、自立する独立したシェル構造オブジェクトである340mm厚のRC(鉄筋コンクリート)曲面壁を7枚建て、その間に軽量の鉄骨構造の屋根や床を挿入し、個別のエントランスを持つ5層のスキップフロアからなる連続的な空間を構成している。そこには、音を柔らかく拡散させる、優れた音楽環境が実現されており、リビングとダイニングの間の幅の広い階段は友人を呼んで演奏会をする際の客席にもなることを想定して設計されている。

構造や音響の専門家と協働して、音楽家のための住宅というプログラムを見事にまとめ上げたところに設計者の確かな力量が認められる。ピアノなどの大型楽器の搬入経路も、螺旋階段とは別に確保されており、気配りが行き届いている。ただし、外構の設えはいささか無機的である。外部の植栽や床面仕上げなどに配慮し、居住者相互の交流や周辺住民との繋がりを生み出す景観の創出に期待したい。

若い音楽家に質の高い生活環境を提供し、鹿児島の文化に寄与する建築として高く評価できる。



厚み34cmの曲面の壁は抜群の音響効果を発揮、階段は観客席になる



半階ごとに軽やかに各室を結ぶ



バスルームにもスピーカー。

受賞者の声

「城山アパートメント」

しっかりと考えて創ったこの建築が第2回鹿児島市景観まちづくり賞を受賞できましたこと、大変光栄に思います。この賞がこれからの鹿児島市のまちづくりや建築文化の発展に大きく寄与するとともに、考えて創られた建築が増え、鹿児島の街の魅力になることを心から願っています。

サウルス建築設計事務所

第2回 鹿児島市 景観まちづくり賞

2012 THE BEST OF KAGOSHIMA LANDSCAPE AND ARCHITECTURE AWARD

建築部門 宮崎銀行鹿児島営業部



プレキャストコンクリートの細いリブ状の列柱で構成した軽快なファサード
緑の壁は日々、成長を続けている



格子のカゴ状の植木鉢部分にも植栽を施し、中木で緑化した4階のテラス



宮崎県が生産日本一を誇る杉による型枠を使用した打ち放しコンクリート壁でできた空間



室内に柱が無く、床から天井までガラスとした開放的な窓廻り

鹿 児島市の中心街に立地する宮崎銀行の拠点支店の建物である。北側ファサードは、ガラスとプレキャストコンクリートの列柱によるリズムカルな外観によって構成されており、ガラス面には軌道敷を緑化した路面電車が走る周辺の街並みが映り込み、景観上魅力的な要素となっている。

技術的には、列柱はガラスより外側に設けたアウトフレーム形式とし、約12mスパンの整形なオフィス空間を確保すると共に、ファサードに奥行き感と透明感を与えている。丸みを帯びたリブ上の長方形断面をもつ列柱は、鹿児島市の厳しい日差しを遮るルーバーの役割を果たす。さらに最上階はセットバックして列柱越しに空を望める開放的な景観を形成している。

また、北側ファサードの4階テラスは中木による緑化を行い、屋上の目隠しルーバー壁には、つる状植物を植えた緑化ブロックを設置して、立体的な植栽空間の形成を図っている。ただし、1階部分の緑化については、もう少し配慮があってもよかったと思われる。

執務空間は、列柱とそれらをつなぐプレキャストコンクリートの梁・床版を組み合わせた構造形式により、無柱の開放的な大空間となっている。床下の自然換気機構、太陽光パネル、宮崎産の杉の型枠を用いた打ち放しコンクリート壁など、環境技術にも積極的に取り組んでいる。

以上のように、景観・環境・形態・機能・技術などいずれの側面についても、密度の濃い設計が施されており、街並みへの貢献度の高い建築といえる。

景観まちづくり賞 建築部門 「宮崎銀行鹿児島営業部」

- 所在地 山之口町12番9号
- 建築主 株式会社 宮崎銀行
- 設計者 株式会社 日建設計
- 施工者 坂下・植村 特定建設工事共同企業体
- 概要 用途:事務所
構造等:RC造5階
延面積:1,851.82㎡



直方体形状の「緑化ブロック」からつる状の植物が伸びてルーバーを覆う



ガラス越しに杉型枠の壁が見えるシースルーのエレベーターシャフト

受賞者の声

「宮崎銀行鹿児島営業部」

ルーバー状の列柱によるリズムカルな外観や、路面電車の軌道敷の芝生に呼応するように壁面緑化を行うことで、街並みに対して豊かな表情を与えられることを目指しました。この建物が街の良質な景観形成に寄与し、鹿児島のまちづくりに少しでも役立つことが出来れば幸いです。

株式会社 日建設計

第2回 鹿児島市 景観まちづくり賞

2012 THE BEST OF KAGOSHIMA LANDSCAPE AND ARCHITECTURE AWARD

景観部門 城山観光ホテル ガーデンテラス



ガーデンテラスから望む桜島と錦江湾・市街地



- 所在地 新照院町
- 団体名 城山観光株式会社
- 取組内容 「セミパブリックとしての庭園の解放」
 - ・ガーデンテラスの一般解放等による「市街地と桜島」眺望景観の視点場提供、鹿児島市の魅力発信
 - ・日本庭園「水簾」の整備
 - ・イルミネーションによる演出



城山ガーデンテラス 水簾



ガーデンウェディング



イルミネーション



市街地夜景とイルミネーション

景観まちづくり賞 景観部門「城山観光ホテル ガーデンテラス」

豊かな緑に囲まれた城山観光ホテルには、自然と人工の織りなす空間の魅力が賞味できる庭園群が広がる。言うまでもなく城山エリアは鹿児島にとってなくてはならない重要な景観資産であり、城山の原生林との調和に配慮して創り出された庭園群では、クリスマスに合わせたイルミネーションによる演出など、季節ごとに質の高い多様なサービスが提供されている。

今回、和風庭園における旧滝の茶屋を「水簾」としてリニューアルすると同時に、植栽のバリエーションを多くし、四季の草花が一年中咲く、水をテーマとした庭園空間を創出する改修工事が実施されたことを契機として、庭園群の景観的価値を発見されたのではないかとと思われるが、新たに創出された庭園空間が(おそらく和風庭園の脆弱さもあって)一般に開放されていないのは残念なことではある。

一方、和風庭園から連続する洋風庭園としての「テラスガーデン」からは、市街地、錦江湾、桜島を望む素晴らしい眺めを楽しむことができる。これらの眺望を城山の貴重な景観資源とみなし、テラスガーデンをセミパブリックな空間として広く一般利用者に開放し、市街地と桜島を一望するビューポイントとして位置づけていることは高く評価される。

豊かな自然環境の中にある庭園群は、それ自体が鑑賞の対象となる貴重な景観資源であると同時に、市街地や桜島への眺望の視点場を提供する社会的責務を担っていることにも留意すべきである。



市街地から望む城山観光ホテル

受賞者の声

「城山観光ホテル ガーデンテラス」

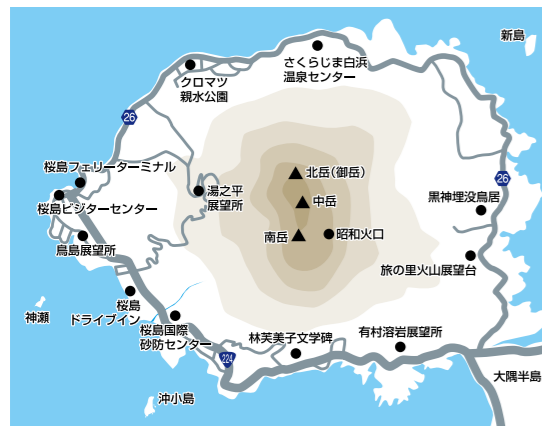
景観部門の受賞、ありがとうございます。ガーデンテラスでは、パーティーや婚礼で数多くの「幸せ」に携わり、また、県民の皆様はもとより全国からご来館のお客様にも市街地、錦江湾、桜島が織りなす大自然の景観を、当ホテルの庭園からご堪能いただいております。これからは県民の皆様からお預かりしているこの景観を大事にし、鹿児島観光の一端を担ってまいります。

城山観光株式会社

景観部門 桜島まるごと博物館



シーカヤック



天然温泉掘り体験

NPO法人桜島ミュージアムは、桜島全体をまるごと博物館と
考え、活火山の周囲に広がる独特の環境を活用しながら、
現地で本物を見て、楽しみながら学べる仕組みを作ることを目指して
活動している団体である。具体的には、桜島ガイド事業、各種イベント
開催、教育旅行の受け入れ体制整備、各種体験プログラムを集め期
間限定で開催する「桜島まるごと体験フェア」、桜島ビジターセンター
の管理運営、桜島の椿油の活用・商品化などの多岐に渡る活動を展
開している。

現在は、桜島の各地でエコツアーやイベントを開催し、多くの人々
に桜島の魅力を伝えていく活動が中心となっているが、それを観光、
教育、地域振興、福祉、防災等に活かし、地域の人々、子どもたち、観
光客など、多くの人々に対する生涯学習、環境学習、地域づくりに寄
与することを目指している。

団体の構成員には、火山学者、歴史研究者、まちづくり活動家、公務
員、ボランティアコーディネーター、主婦など、多様な関心を抱く幅広い
年齢層の人々が含まれており、自分たちの強みと弱みも十分に理解し
ていることから、この団体の活動は持続可能であると判断される。

日本の多くの火山の中でも最も活動的な火山の麓に、人が暮らし、
農業や漁業を営んでいるという驚くべき事実を深く理解し、桜島とい
う特定の地域に住み込み、人々に寄り添いながら、地域の発展に貢
献する活動を展開していく姿勢には大いなる感動を禁じ得ない。



火山ガイドウォーク



桜島大根収穫体験

- 所在地 桜島全域
- 団体名 NPO法人 桜島ミュージアム
- 取組内容 「桜島エコミュージアムの実践」
 - ・桜島の魅力を体感して楽しむイベントの開催
(散策ツアー、バスツアー、各種体験など)
 - ・桜島の豊かな魅力の掘り起こしと情報発信



白石石畳道保全活動



火山体験ツアー湯之平

受賞者の声

「桜島まるごと博物館」

私たちが取り組んできた活動が、景観まちづくりの視
点で評価頂けたことを大変うれしく思います。これからも
桜島の地域資源を再発見し、多くの人たちへその素晴
らしさを伝えていきたいと思ひます。

NPO法人 桜島ミュージアム

特別賞 鹿児島中央駅前開発による都市景観の創出



鹿児島中央ターミナルビル



南国センタービル

■取組等の内容 九州新幹線開業に向けた「南国センタービル」「鹿児島中央ターミナルビル」建設等の鹿児島中央駅前開発による新たな都市空間整備

■表彰の対象 建築部門に応募のあった次の建築物の建築主(5者)を一連のプロジェクトの事業主体として表彰

「鹿児島中央ターミナルビル」

- 用途 事務所、ホテル、店舗、バスターミナル
- 所在地 中央町11番地
- 建築主 南国中央町ビル株式会社、南国殖産株式会社、株式会社鹿児島銀行、株式会社松元
- 設計者 三菱地所設計東条設計共同企業体
- 施工者 株式会社竹中工務店九州支店

「南国センタービル」

- 用途 事務所、店舗、駐車場
- 所在地 中央町18番地1
- 建築主 南国ビル株式会社
- 設計者 株式会社三菱地所設計九州支店
- 施工者 株式会社大林組九州支店



航空写真



南国センタービル、鹿児島中央ターミナルビルは、2011年の九州新幹線全線開通に向け、鹿児島市の玄関口として変貌しつつある鹿児島中央駅前にふさわしい建物として建設されたものである。すなわち、①鹿児島の「顔」にふさわしい街並みをつくる、②鹿児島の風土にあった環境取組をする、③ビジネス&観光で地域に貢献する、という3点を共通の目標として、駅前の都市景観を創出している。

南国センタービルでは、放射状に広がる特徴的な道路に沿って建物を配置することで、通りや駅前広場に対する街並み形成に配慮しているが、特に都通り側の低層部を道路よりセットバックさせ、歩行空間を拡大することでバス停まわりを上げており、優れた地域貢献として高く評価できる。

鹿児島中央ターミナルビルは、南国センタービルに続く一連の駅前開発で建設されたものである。高層と低層にボリュームを分けて周辺に対する圧迫感を軽減するとともに、鹿児島中央駅から桜島の景観に配慮し、高層部を絞り込んでいる。とはいえ、高層は突出しており、圧迫感がないとは言えない。低層部は道路に沿った配置とし、店舗による通りの賑わいの連続性と街並み形成を図っているが、道路からの引き込みが少なく、公共空間に対する配慮が今少しあっても良かったと思われる。ただし、駅地下広場と地階で接続することにより、利便性を大きく向上させている点は特筆に値する。

いずれのビルも強い日差しの遮蔽と大きな窓の両立を目指して、縦ルーバーとガラス面によるファサード構成となっており、光と影が彫りの深い外観を作り出し、鹿児島らしい地域性を感じさせる。

21世紀を迎えて、公共セクター(行政)、コミュニティセクター(住民・地域コミュニティ)に加えて、民間セクター(事業者)が都市づくりの重要な担い手としてクローズアップされるようになってきている。これまでの法定都市計画やまちづくりに加えて、事業者による都市プロジェクトが都市づくりに欠かせない要素となっているためである。それゆえ事業者には、経済的価値を追求するだけでなく、社会的・文化的価値を実現し、どれだけ地域の発展に貢献できるかが問われているのである。

新幹線が開通した鹿児島中央駅周辺は、今後益々大きな発展を遂げられると思われるが、都市開発に関わる事業者が行政や住民・地域コミュニティと協働して、豊かな公共空間を含む魅力的な都市景観を創出していくことが強く求められるはずである。

今回のこの2つのビルは建築部門に個別に応募されたものであるが、審査委員会ではこれら2つのビルによって創出された都市景観を審査対象とし、建築部門と景観部門の審査区分を超える「特別賞」を授与することにしたのである。事業者(建築主や設計者を含む)には、今後の鹿児島における都市づくりや都市景観の形成に対して、一層の地域貢献をしていただくことを願っている。



外観夜景



低層ロビティ部

その他の二次審査対象

建築部門

「OK沢井薬品」は、歴史的な雰囲気も残る上町地区に建設された医薬品卸売業の事務所ビルである。事務所ビルとしての必要な機能を満たし、アメニティを充実するため、施主の意見を十分に取り入れながら作り上げた作品で、好感が持てる。医薬品に因みDNA構造の螺旋とバーコードをモチーフにデザインした外観では、外装パネルの素材を石垣などが残る周辺の歴史的な文脈に配慮して石目調の仕上げとするなどの工夫がみられた。しかしながら細部の詰めが甘く、全体に少し荒い仕上がりとされており、またインテリアについても、家具やカーテン、壁の色などに統一感が見られなかった。

「厚地脳神経外科病院」は、天文館に位置する病院建築である。1、2階部分をセットバックさせて、道路との間に公共的な空間を創り出し、道路側の病室には西日対策として斜めの窓を設け、壁面の陰影がリズムカルな表情を作り出しており、壁面緑化や屋上緑化にも工夫が見られ、鉄筋コンクリート造の造形美を生かした質の高い建築空間が実現されている。しかし、医療プログラムに対する建築設計の側からの提案があまり認められないこと、既存部分の建物との関係（例えば天井高など）についても検討が不十分であること、街並みへの貢献が少ないことなど、今少し踏み込みが不足しており、受賞には至らなかった。

「プラザN」は、鹿児島中央駅西口より至近の距離に位置する飲食店舗・共同住宅・事務所からなる複合機能ビルである。鹿児島の地域特性上、降灰時に誰でも気軽に利用できる「屋根のある共用空間」を設けることで「都市のオアシス」を提案している点が高く評価され、現地審査の対象となったが、実際には意図通りの空間として実現していないのではないかとされる。ヨーロッパの街並みをデザインコンセプトとしているが、ストーリーの必然性が分かりにくく、地域住民とともにワークショップなどを行って設計を進めていたら、もっと違った展開が得られたのではないかと。今回の公開空地は総合設計制度を活用して確保したものであるが、細やかな設えにも少し工夫があってもよかったと思われる。

「和田の家」は、西側の公園は眺めたいが夏の強い西日は避けたいという、相反する条件を解決するために「斜壁」というデザインポキャブラリを考案し、その隙間に光庭を設けることで、全居室に光と風を呼び込み、ピアノ室と居住空間を切り離すことに成功している。小規模な住宅でありながら、開放感があり、囲まれ感もあるバランスのとれた空間が実現されており、家族が気持ちよく暮らすことのできる住宅となっている。母屋は1階が寝室と収納、2階が家族共用空間となっているが、少し単調になっているとの意見があった。全体として高い評価を受けたが、これまでに受賞した住宅作品に比べて一歩及ばないことから、今回は受賞には至らなかった。

景観部門

「吉野地域花いっぱい運動」は「吉野地域まちづくりワークショップ」という団体の活動であり、毎月1回の定例会議で吉野地域のまちづくりについて協議し、①吉野地域花いっぱい運動、②吉野地域花いっぱい運動作品コンクールなどを行っている。①は県道の改良工事で発生した旧道の残地に花を植える活動などであり、現地に水栓がないことから自分たちで水を運ぶという重労働も担いながら、懸命に花づくりに取り組んでいる。バケツを持ち、集まっておられた方々の姿に、その真摯な運動の一端を垣間見る思いがした。貴重な活動ではあるが、まだ緒に着いたばかりであり、この活動を吉野地域の環境を良くする方向で広げていっていただければ幸いである。景観まちづくり活動の発展を待って改めて評価をしたいと考えている。

第2回鹿児島市景観まちづくり賞審査会
委員長 門内 輝行

OK沢井薬品株式会社 鹿児島本社社屋

建築部門

- 用途 事務所
- 所在地 春日町
- 建築主 OK沢井薬品(株)
- 設計者 (株)アーキ・プラン
- 施工者 (株)新生組

厚地脳神経外科病院

建築部門

- 用途 病院
- 所在地 東千石町
- 建築主 医療法人慈風会
- 設計者 ゲンプラン設計(株)
- 施工者 (株)森建設

プラザN

建築部門

- 用途 飲食店舗・共同住宅・事務所
- 所在地 武一丁目
- 建築主 (有)アカデミー学院
- 設計者 (株)大林組九州支店
一級建築士事務所
- 施工者 (株)大林組九州支店

和田の家

建築部門

- 用途 専用住宅(車庫付)
- 所在地 和田二丁目
- 建築主 個人
- 設計者 アカツキ建築設計(株)
- 施工者 樋高建業

吉野地域花いっぱい運動

景観部門

- 所在地 川上町、吉野町 他
- 活動団体名 吉野地域まちづくりワークショップ
- 活動内容 県道残地の花壇の整備・維持管理
まちかどへのプランター設置
花いっぱい運動作品コンクール

第1回 鹿児島市景観まちづくり賞 受賞作品のご紹介



薬師堂の家【建築部門】

- 用途 専用住宅(車庫付)
- 所在地 東谷山3丁目
- 所有者 個人
- 設計者 株式会社 小森昌建築設計事務所
- 施工者 株式会社 新生組
- 構造等 鉄筋コンクリート造 2階建



大原地区フラワーロード【景観部門】

- 所在地 本名町7934番地イ先
- 活動団体名 大原地区公民館連絡協議会
- 活動内容 県道沿いの花壇の整備、維持管理
・幹線道路の緑化
・路側帯の空き地150mの花壇等の苗植え、草取り、水やり、清掃

東宝アルバビル リッチモンドホテル鹿児島天文館【建築部門】



- 用途 ホテル
- 所在地 千日町14番1号
- 所有者 萬活土地起業株式会社
- 設計者 竹中工務店
九州一級建築士事務所
- 施工者 竹中工務店 九州支店
- 構造等 鉄筋コンクリート造
11階建



八重の棚田【景観部門】

- 所在地 郡山町八重
- 活動団体名 八重地区棚田保全委員会
- 活動内容 棚田の保全と都市農村交流による地域活性化
・八重山の山腹に広がる約240枚からなる石積みの棚田の維持保全
・棚田を生かした農作業体験を通じ、都市部住民と地域住民との交流
・スイセンロードの整備

STEP【建築部門】



- 用途 共同住宅
- 所在地 松原町11番7号
- 所有者 田代隆宏
- 設計者 サウルス建築設計事務所
- 施工者 株式会社 前屋敷組
- 構造等 鉄筋コンクリート造
7階建



マルヤガーデンズ【景観部門】

- 所在地 呉服町6番5号
- 活動団体名 株式会社 丸屋本社
- 活動内容 商業施設の再生、壁面緑化、屋上緑化
・商業施設の改修工事におけるメインファサードの壁面緑化、屋上緑化
・コミュニティスペース「ガーデン」の設置、運営

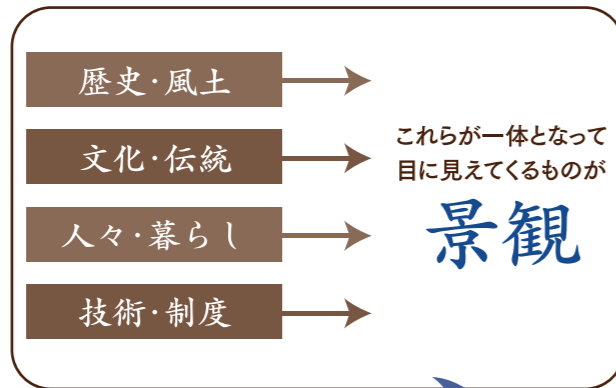
景観まちづくりとは

景観とは…

- 景観は、それぞれの地域ごとの歴史、地勢や生態系などの風土、文化や伝統、私達一人ひとりの暮らしや経済活動等と、技術の進歩や法律制度等が背景となってつくられるものです。
- 良好な景観は、地域の個性や特色をわかりやすく特徴づけるものであり、人々の地域に対する愛着やふるさと意識を育みます。
- 身近にある景観のよさは、潤いある魅力的で豊かな生活環境の創出に貢献します。
- 美しく個性的な景観は、観光をはじめ国内や世界各地との交流を活発にする役割を担います。

景観まちづくりとは…

- 自分たちのまちの景観を楽しみ、貴重な財産として次世代に残せるように、わがまちの景観を維持・継承・改善するための様々な取り組みが、景観まちづくりです。
- 景観まちづくりは、現在の良好な景観を大切に保全することだけでなく、新たに現代的で美しく魅力的な景観をつくりだすことも含みます。
- 清掃や緑化など、日々の暮らしに根ざした、まちの景観を整えるための地道な活動も、良好な景観まちづくりに貢献しています。



景観まちづくりの結果も
景観の新たな背景

まちの景観を
維持・継承・改善する行為



まちの景観を
維持・継承・改善するための様々な活動が
景観まちづくり



第2回 鹿児島市景観まちづくり賞

1.目的

景観まちづくり賞は、良好な景観形成に寄与している建築物や、市民等の活動により保全されている景観の良好な街並み、田園、海岸、緑地、景観形成に貢献する市民等の活動を表彰し、これらを広く紹介することにより、景観に対する市民や事業者の関心を高め、魅力的な景観のあるまちづくりを進めることを目的として実施します。

2.募集期間

平成24年5月21日(月)～6月22日(金)

3.募集対象

【建築部門】市内にあり、美しい街並みと豊かな都市環境に寄与し、街に潤いと魅力を与えている民間建築物で、平成14年4月1日から平成24年6月22日までに建築基準法による検査済証の交付を受けたもの

【景観部門】○市民・事業者によってつくられ保全されている街並み、田園、海岸、緑地などの市内の良好な景観
○市内で継続的に取り組まれている景観まちづくり活動

4.応募件数

建築部門：25件 景観部門：4件

5.審査会

- (1) 期間：平成24年8月24日(金)～26日(日)
- (2) 審査会委員

委員長	門内 輝行	京都大学大学院工学研究科建築学専攻教授
副委員長	井上 佳朗	鹿児島大学法文学部教授
委員	古川 恵子	鹿児島女子短期大学生活科学科教授
	木方 十根	鹿児島大学大学院理工学研究科教授
	下原 美保	鹿児島大学教育学部教授
	東川 美和	NPO法人かごしま探検の会事務局長
	橋本 文雄	鹿児島大学農学部准教授



6.表彰

建築部門	建築主	賞状及び銘板
	設計者	賞状
	工事施工者	賞状
景観部門	活動団体等	賞状及び賞金10万円
特別賞	事業主体	賞状





発行

平成24年10月

鹿児島市建設局都市計画部都市景観課

〒892-8677 鹿児島市山下町11-1

☎099-216-1425

<http://www.city.kagoshima.lg.jp>

